

災害廃棄物の受入実績について(報告)



平成25年4月 北九州市環境局

1 災害廃棄物の受入れ終了について

宮城県副知事による説明

平成25年1月10日、宮城県の若生副知事が来北し、災害廃棄物の広域処理に関する来年度の処理の見通しについて、北橋市長へ説明。

- 北九州市、東京都などに平成25年3月まで協力いただければ、平成26年3月までの処理終了に、ほぼ見通しがついた。
- 平成25年度は、県外への可燃性廃棄物の広域処理の要請は行わない方針。
- 処理の見通しがついた要因は、
 - ・ 処理の進捗に伴い、廃棄物の種類、重量の把握が正確にできるようになり、想定よりも可燃性廃棄物の量が少なかったこと
 - ・ 可燃性廃棄物が腐敗し、不燃物化したこと。
 - ・ 解体家屋数の減少などが挙げられる。
- 北九州市には、いち早く協力の手を差し伸べていただき、宮城県、石巻市の人々の復興に対する気持ちを後押ししていただいた。

これを受け、北九州市での災害廃棄物の受入れは、平成25年3月末で終了することとなった。

2 災害廃棄物の処理状況

①災害廃棄物処理量

平成24年9月13日にコンテナ船第1便が到着し、9月17日に焼却を開始。平成25年3月18日に最終便が到着し、3月26日まで焼却を実施。

処理量（工場への搬入量）

（単位：トン）

搬入日	新門司	日明	皇后崎	合計
平成24年9月17日 ～ 平成25年3月25日	6,929.4	5,522.1	10,164.9	22,616.4
※試験焼却時 平成24年5月23日 ～ 同年5月24日	44.57	34.64	—	79.21

その他

○受入船便数：全27便（おおむね週1回運行）

○受入コンテナ数：全2,863本

※試験焼却は、トラック28台で搬送

2 災害廃棄物の処理状況

②石巻市での災害廃棄物の放射能測定

① 放射能濃度の測定

- 測定内容：本市に搬送する災害廃棄物から試料を採取し、
1日2回測定
- 測定結果：平成24年9月3日～25年3月13日まで
298回測定。
結果は全て検出下限値（50ベクレル/kg）未満。

② 放射線量の測定

- 測定内容：本市に搬送する全てのコンテナ
（1コンテナあたり4箇所）について測定を実施。
- 測定結果：結果は全てのコンテナが自然界の数値と変わらない
（もしくは低い）レベル。

2 災害廃棄物の処理状況

③-1 本市での放射能測定結果

処理施設周辺の放射線量の状況

(単位: マイクロシーベルト/時)

測定地点	災害廃棄物受入前	災害廃棄物受入後	備考
	9月6日～13日の 平均値	9月14日～3月29日の 平均値	
日明積出基地	0.07(0.05～0.09)	0.06(0.04～0.10)	敷地境界4地点の平均
測定地点	災害廃棄物受入前	災害廃棄物受入後	備考
	9月6日～16日の 平均値	9月17日～3月29日の 平均値	
新門司工場	0.07(0.06～0.07)	0.07(0.05～0.09)	敷地境界4地点の平均
日明工場	0.06(0.06～0.07)	0.06(0.05～0.08)	敷地境界4地点の平均
皇后崎工場	0.06(0.05～0.09)	0.06(0.05～0.09)	敷地境界4地点の平均
測定地点	災害廃棄物受入前	災害廃棄物受入後	備考
	9月6日～17日の 平均値	9月18日～3月29日の 平均値	
響灘西地区 廃棄物処分場	0.05(0.04～0.06)	0.05(0.04～0.07)	敷地境界4地点の平均

○ モニタリングポスト（市内5カ所）の測定結果についても、自然界と同レベルであった。

2 災害廃棄物の処理状況

③-2 本市での放射能測定結果

日明積出基地での放射能濃度測定結果

(単位:ベクレル/kg)

項目・測定頻度		放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	合計	北九州市の受入基準
災害廃棄物	毎月1回 (9,10月は毎週)	不検出 ~ 16	16 ~ 27	16 ~ 43	100ベクレル/kg 以下

焼却工場での放射能濃度測定結果

項目・測定頻度		新門司工場	日明工場	皇后崎工場	北九州市の管理目標
排ガス	毎月1回	不検出	不検出	不検出	2ベクレル/m ³ 未満
主灰、スラグ、 メタル、汚泥	毎月1回	不検出	不検出	不検出	100ベクレル/kg 以下
飛灰	毎月2回	15ベクレル/kg ~ 84ベクレル/kg	47ベクレル/kg ~ 99ベクレル/kg	25ベクレル/kg ~ 86ベクレル/kg	330ベクレル/kg 以下
処理水	毎月1回	処理水は 発生せず	不検出	不検出	10ベクレル/L 以下

2 災害廃棄物の処理状況

③-3 本市での放射能測定結果

最終処分場での放射能濃度測定結果

項目・測定頻度		響灘西地区廃棄物処分場	北九州市の 管理目標
排水処理施設 (原水：処理前)	毎月1回	不検出	10ベクレル/L 以下
排水処理施設 (処理水：処理後)	毎月1回	不検出	
周辺海水	毎月2回	不検出	

3 市民による災害廃棄物処理状況の確認等

① 災害廃棄物処理市民モニター会議

平成24年8月28日に「災害廃棄物処理市民モニター会議」を設置し、13名の「地域推薦モニター」及び3名の「公募モニター」に、石巻市や本市での処理状況、放射能測定の状態を確認いただいた。

① 開催状況（全6回開催）

平成24年

- ・ 8月28日（火）「災害廃棄物処理市民モニター会議」の設置
- ・ 9月18日（火）日明工場等での処理状況等を視察
- ・ 10月17日（水）石巻市での処理状況等を視察
- ・ 11月28日（水）受入れ状況の報告

平成25年

- ・ 2月12日（火）新門司工場での処理状況等を視察
- ・ 3月26日（火）受入れ状況の報告（最後の会議）

3 市民による災害廃棄物処理状況の確認等

② 開催風景



新門司工場視察の様様



処理状況説明の様様



石巻市視察の様様 1



石巻市視察の様様 2

3 市民による災害廃棄物処理状況の確認等

②市民による放射能測定の確認

① 放射能測定の市民参加

- 内容：各焼却工場及び響灘西地区廃棄物処分場で、放射線量の測定状況及び放射能濃度測定のための試料採取状況を公開
(平成24年10月～25年3月まで毎月1回実施)
- 参加者：全25名
(新門司：7、日明：6、皇后崎：4、処分場：8名)

② 放射線量の出張測定

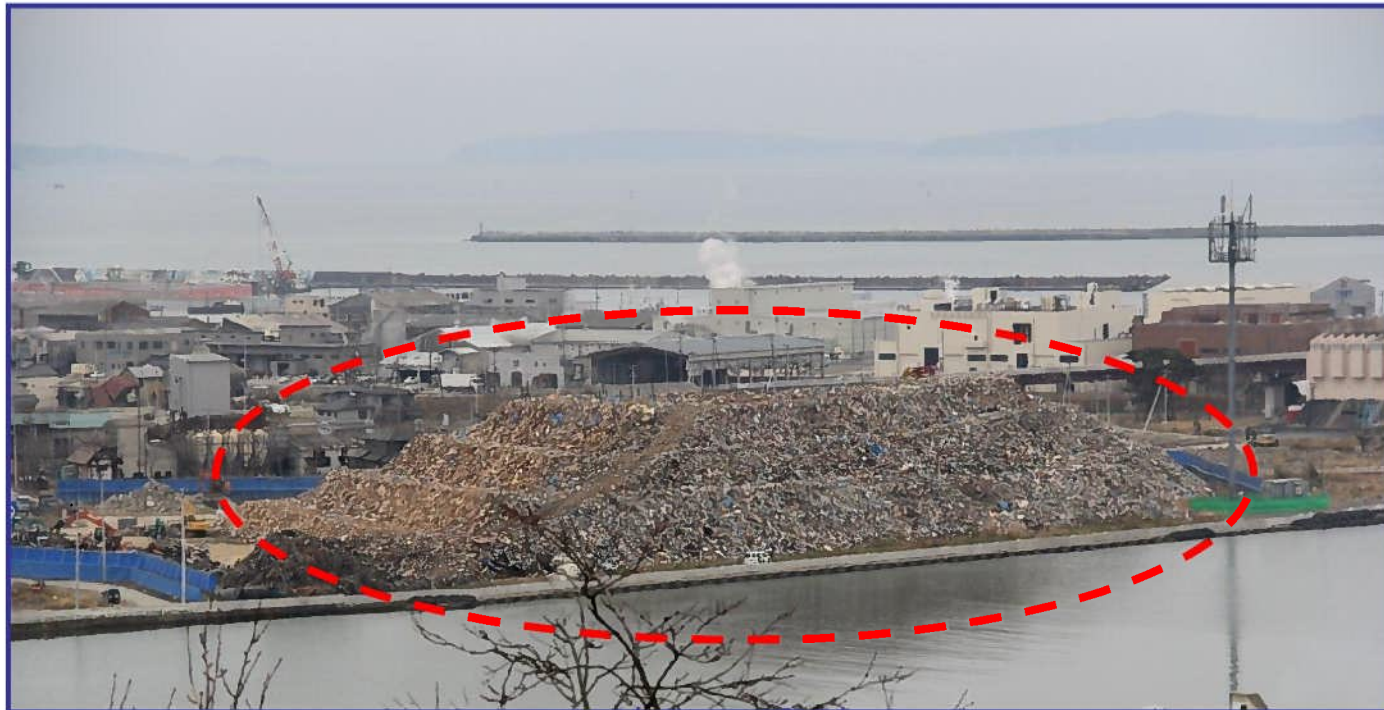
- 内容：市民の申し込みに応じて、市内の空間線量を測定
(平成24年9月18日～25年3月末まで実施)
- 申込件数：全29件
(門司：9、小北：6、小南：5、若松：2、八西：7件)
- 測定結果：0.05～0.10マイクロシーベルト/時
(受入れ前から変化なし)

4 本市の受入れによる効果について

川口町一次仮置き場の処理状況について

本市が受入れを行った災害廃棄物（可燃物）約22,600トンは、川口町一次仮置き場の選別前の混合廃棄物で約41,400トンに相当。同仮置き場は、3月15日現在で約106,000トンの混合廃棄物を搬出済みであり、本市の受入れが同仮置き場の災害廃棄物の4割近くの処理に貢献したこととなる。

川口町一次仮置き場の模様



平成23年
12月時点



平成25年3月時点

